

岩 手 県 金 融 経 済 概 況

1 . 概 況

県内の景気は、厳しい状況が続いているが、製造業を中心に持ち直している。

最終需要の動向をみると、個人消費は一部に政策効果がみられるが、全体では弱い状況が続いている。一方、公共投資はならしてみれば前年並みの水準にあるが、住宅投資には底打ちの兆しが窺われ、設備投資では加工業種中心に持ち直しの動きがみられている。

この間、生産はゆるやかな回復基調を維持してきており、雇用情勢は厳しい状況が続いているが、改善に向けた動きがみられている。

2 . 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、一部に政策効果がみられるものの、全体では弱い状況が続いている。

(大型小売店売上高)

百貨店の売上高は、衣料品を中心に引続き前年を下回る動きとなっているが、家庭用品など一部値ごろ感のある商品を中心に持ち直しの動きもみられるなど、下げ止まりの兆しが窺われる。この間、スーパーは、引続き前年比マイナス基調にある。

(家電量販店売上高)

家電販売は、エコポイント効果により薄型テレビや冷蔵庫が好調に推移していることから、全体でも前年を上回って推移している。

(新車登録台数)

6月の新車登録台数は乗用車・貨物車ともに引続き好調で、年明け以降、前年を2割方上回る水準で推移している。

(2) 公共投資

6月の公共工事請負金額は前年を下回ったが、4-6月をならしてみると前年並みの

水準となった。

(3) 住宅投資

5月の新設住宅着工戸数は、持家・貸家ともに前年を上回り、全体でも16カ月振りに前年を上回った。

(4) 設備投資

2010年度の設備投資計画(6月短観調査結果*)は、製造業(とくに加工業種)を中心に、売上高・収益の回復を背景に、前年を大幅に上回る計画となっている(2008年度並みの投資水準)。

*2010年度計画・前年度比：製造業 +76.8%、非製造業 +9.2%、全産業 +60.9%

3. 生産動向

生産は、ゆるやかに回復している。

(電子部品・デバイス)

電子部品・デバイスは、東アジア諸国からの受注増加を背景に、持ち直しが続いている。

(輸送機械)

自動車・同部品は、輸出向けを中心に春先に一時的に生産が減少を示したが、全体としてみれば持ち直し基調にある。

(一般機械)

半導体製造装置は、東アジア諸国からの受注回復を背景に、リーマン・ショック前の生産水準まで回復してきた。建設機械部品や工作機械でも、在庫調整の進捗と国内外からの受注増を背景に、着実に持ち直してきている。

(その他)

窯業・土石、木材・木製品は、需要の低迷から減産を継続している。食料品は、ほぼ横這いで推移している。鉄鋼は、自動車向けを中心に需要が増えているため、生産水準をやや引き上げている。

4. 雇用・所得の動向

5月の有効求人倍率(季節調整値)は0.39倍(前月:0.38倍)、新規求人倍率(同

上)は0.78倍(前月:0.69倍)と、いずれも前月に比べ上昇した。

この間、雇用者所得は、雇用者数は引続き前年を下回っているが、製造業を中心とした一人当たり名目賃金の増加(所定外労働時間の増加)を主因に、3カ月連続で前年を上回った。

5. 企業倒産

6月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数が3件(前月9件、前年同月6件)、負債総額が1億67百万円(前月50億54百万円、前年同月27億83百万円)と、件数、負債総額ともに前年を下回った。

6. 金融面の動向

預金動向は、個人預金の増加を主因に、前年を上回って推移している。

貸出動向は、地方公共団体向けが増加しているものの、住宅ローンが頭打ちとなっているうえ、法人向けも前年割れとなっていることから、前年並みの動きとなっている。

この間、貸出約定平均金利は、4月以降、2カ月連続でほぼ前月並みとなった。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) http://www3.boj.or.jp/morioka/
--